

## **ランチョンセミナー**

**健康・長寿社会を支える料理の社会分業化**  
－料理の垂直統合構造の構築－

## **Luncheon Seminar**

Social specialization of food production to  
support a society of health and longevity:  
Construction of a vertically-integrated food structure

協賛：株式会社ヤマザキ / Supported by YAMAZAKI

# 『健康長寿社会を支える料理の社会分業化 — 料理の垂直統合構造の構築 —』

山崎寛治／株式会社ヤマザキ 代表取締役会長

現代は、“家庭で料理をすることが難しくなっている時代”です。単身世帯や高齢世帯、共働き世帯の増加などにより、家庭内で調理をする機会は減少しています。その結果、食の外部化率は1975年（27%）から2014年（45%）にかけて年々上昇しており、中食市場の需要はさらなる拡大が予測されます。そのような時代の中で、惣菜メーカーである当社は『料理は買った方が健康になる社会』を目指し、野菜作りから取組むことで、安全で美味しい野菜を料理にして商品化しております。

では、安全で美味しい野菜とはなにか。それは“正常な土壌環境”で“減農薬・減化成肥料”で栽培された野菜であると考えております。現代の農業は、“お母さんが料理しやすい形や大きさ、傷や虫食いがいい綺麗な見た目であること”という概念に縛られ、農薬散布や選果工場などの非効率な体制になっています。

“農業は、人類初の環境破壊である”といわれているように、畑地への農薬や化学肥料の投入により、土壌環境が崩壊し、土壌流亡・洪水、そして黄砂・メタンなどによる大気汚染にもつながっています。崩壊してしまった土壌環境を正常化するためには、土壌内の三要素（生物性・化学性・物理性）を整備し、有機栽培による循環型農業を行っていく必要があります。土壌改良によって、気候変動に強く、美味しく健全な野菜作りを目指すことが、環境のためにも私たちの健康長寿社会を支えるためにも重要なのです。

今回は、当社が行っている土壌環境整備のための自社堆肥工場の取組みや、有機栽培を目指した減農薬・減化成肥料の取組みなどの事例を含めて、食の垂直統合的改革の方向性についてお話しをさせていただきます。



## 山崎 寛治 Kanji Yamazaki

略 歴

昭和25年生まれ。清水東高校、慶應義塾大学卒業後、日綿実業(株)（現：双日(株)）を経て、昭和50年家業である当社に入社。平成元年に(株)ユニデリを設立し社長就任、同3年(株)ヤマザキ代表取締役社長に就任、平成27年に(株)ユニデリ、(株)ヤマザキ代表取締役会長に就任、現在に至る。平成11年から16年まで、蒲原町長（現静岡市）を務める。



しあわせの味、いつも。

株式会社ヤマザキ

# 食卓に、もう一品。



## 食卓を豊かに彩るもう一品シリーズ



ヤマザキグループは『料理を商品にする』総合惣菜メーカーです。

アレンジレシピ公開中  <http://www.yamazaki-grp.com>